



3年学年だより

発行日：令和4年4月29日（木）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

学校長：遠藤 広樹 NO. 1

環境の変化について

校長代理 富樫 哲一

校長代理の富樫 哲一（とがし のりかず）です。南高等学校附属中学校2年目になります。改めて皆さん、どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、新年度を迎えてあっという間に1か月が経とうとしています。2年生、3年生はクラスのメンバーがかわったり、担任の先生や教科の先生方がかわったりと、人によって差はあると思いますが、心地よい緊張感を感じながら過ごした1か月だったのではないのでしょうか。中でも1年生は、周囲の友達や、学習の内容やレベル、生活のリズム…と、小学校から中学校へという、あまりに大きな環境の変化に、「心地よい」とは言えないほど強い緊張感を感じている人も多いのではないのでしょうか。

4月になって皆さんが、やや緊張しながら受けている授業の様子を見ながら、私は自分の小学校から中学校へ進学した時のことを思い出してみました。

私の通っていた小学校は、6学年すべて単級の学校（各学年1クラスしかない学校）でした。また、1学年は多くても20人ぐらいで6年間ずっと同じ顔ぶれなので、ほとんど兄弟姉妹のような感じで小学校生活を送っていたことを覚えています。しかも、家から歩いて5分ほどで通いやすく、日々全くと言っていいほど緊張せずに、6年間を過ごしました。

そんなのんびりとした小学校生活を経て、学区の中学校へ初めて通学した時のことは今でも忘れることができません。進学したのは、1学年13クラス、500人近い県内でも最大規模の中学校だったのです。繰り返しになりますが、全校で13クラスではありません。1年生だけで13クラスもあったのです。しかも、通学には歩くと1時間以上かかるので、私は自転車通学が認められていました。

とにかく始まった中学校生活の何もかもが驚くことばかりで、正直なところ、最初は緊張感を感じている余裕もありませんでした。しばらくすると（だいたい1か月ぐらいかな）、学習や生活のリズムもつかめ、友達もできはじめ、そこで初めて自分以外のみんなも自分と同じように不安になったり緊張していたりしたことを知り、とてもほっとしたことを思い出します。みんな自分より「スゴそう」に見えてたけど、みんな同じなんだなど。

皆さんも生きていく中で、これからも大学生になったり、就職したり、異動になったり、中には起業したり、転職したり、海外に移住したり、結婚したり…と大きな環境の変化に対応しなければならないことが何度か待ち受けているかもしれません。人によっては、そういった環境の変化を積極的に楽しめる人もいますが、大多数の人は何とか自分なりに頑張っただけでその変化に対応して乗り切っているのではないかと思います。

自分の力を最大限に発揮するためには、心理的な安全性が不可欠です。安心できる環境にいるからこそ人は頑張れるのだと思います。中学生の皆さんは新しい環境に対応するスキルはまだ身に付いてなくて当然です。これから何度も環境の変化に対応していく中で、それぞれが自分にあったスキルを身に付けていくものだからです。

最後に、学校は先ほど述べた心理的安全性を皆さんに感じてもらえるように、4月の早い時期に担任との教育相談の時間を設けましたが皆さん、活用しましたか？4月に限らず先生たちはいつでも相談を待っています！

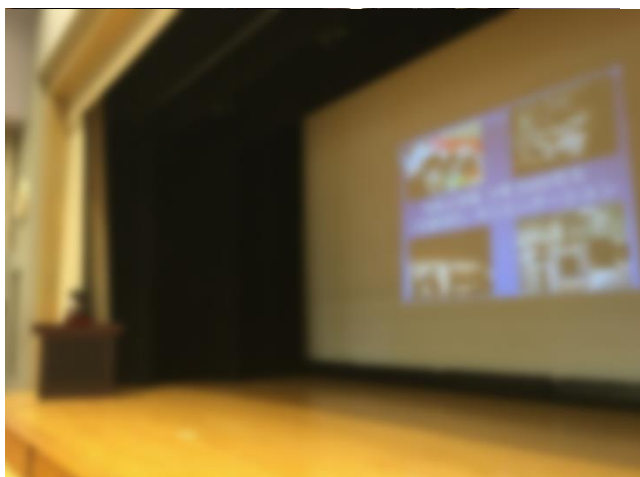
学級、教科の先生を紹介します!

※斜体字は高校の先生です。

	3年1組	3年2組	3年3組	3年4組
担任	酒井 貴史	深谷 きらら	小川 麻悠子	大澤 信夫
副担任	永塚 脩平	青木 裕介	福田 由美	青木 裕介
国語	福田 由美	福田 由美	海崎 隆徳	福田 由美
社会	青木 裕介 山形 拓也	青木 裕介 山形 拓也	青木 裕介 山形 拓也	青木 裕介 山形 拓也
数学	酒井 貴史 永塚 脩平 篠原 哲	酒井 貴史 永塚 脩平 篠原 哲	永塚 脩平 酒井 貴史 篠原 哲	永塚 脩平 酒井 貴史 及川 将慶
理科	大澤 信夫 内田 拓馬	大澤 信夫 内田 拓馬	大澤 信夫 内田 拓馬	大澤 信夫 内田 拓馬
音楽	岩田 正満	岩田 正満	岩田 正満	岩田 正満
美術	平野 正雄	平野 正雄	平野 正雄	平野 正雄
保健体育	深谷 きらら 立貞 栄司 高橋 弘大	深谷 きらら 立貞 栄司 高橋 弘大	小野寺 啓司 深谷 きらら 服部 直人	小野寺 啓司 深谷 きらら 服部 直人
技術	甲斐 謙二郎	甲斐 謙二郎	甲斐 謙二郎	甲斐 謙二郎
家庭	島袋 十和子 菊池 智美	島袋 十和子 菊池 智美	島袋 十和子 菊池 智美	島袋 十和子 菊池 智美
英語	小川 麻悠子 岩佐 眞壽美 <i>Dylan Muenzberg</i>	下村 ゆりか 河井 彩歩 <i>Dylan Muenzberg</i>	小川 麻悠子 岩佐 眞壽美 <i>Dylan Muenzberg</i>	小川 麻悠子 河井 彩歩 <i>Dylan Muenzberg</i>

「卒業研究」がスタートしました！

3年間の EGG、およびすべての学習の集大成となる「卒業研究」がいよいよスタートしました。卒業研究は、南高附属中の大きな特色の一つです。4月23日(土)の土曜 EGG では、南高ホールでオリエンテーションが行われ、卒業研究の目的や一年間の見通しについて説明を聞きました。



オリエンテーションの後に、「テーマの掘り起こし」のワークに取り組みました。ひとつのトピックを「国際」「環境」「健康・福祉」「テクノロジー」「人間」の切り口から考えてみると…？ 9期生のやわらか頭からたくさんの発想が生まれました。アイデアを発言しあう時の雰囲気は、和気あいあいとしてとてもよいものでした。1年間楽しく、有意義に卒業研究に取り組めるよう、9期生みんなでがんばりましょう！



卒業研究 一年間のおおまかな流れ(予定)

4月	オリエンテーション、テーマの掘り起こし	10月	中間発表会
5月	研究仮テーマの決定、領域の決定	11月	卒業論文の執筆、アドバイザー面接
6月	研究計画の立案、アドバイザー面接	12月	卒業論文の執筆
7月	研究テーマ決定、研究計画書の提出	1月	卒業論文の完成
8月	調査、研究活動の実施(～11月まで)	2月	抄録の提出、発表用スライドの作成
9月	夏休み調査報告会	3月	卒業研究発表会